

平成21年1月10日

ヘルパーステーションだいたう ケアレポート No17

ヘルパーステーションだいたうのケアレポートNo17をお届けします。

昨年12月の当ステーションの研修会に於いて、恒例の事例発表会を開催しました。私どものご利用者の中から5名の方（匿名です）の事例の報告とディスカッションが、行われましたので報告いたします。

〈事例1〉

95歳を超える現在に至るまで、大きな病気もなく過ごしてきたが、腰痛などからADLが低下しベッド上の生活が増えてきた。徐々に意欲も低下して、日常生活に支障が出始めており、入浴介助などの他者の関わりによって、意欲の向上を図っている。

まとめ：閉じこもりがちな利用者が身内の関わりに対する反応が小さくても、他人に対しては社会性を発揮し、整容や衣装など身形に関心を示すことがよくある。いわゆる世間体を気にすることを利用し、他人が利用者本人の存在意義を気づかせる働きができる。また今回は、その後の良好なコミュニケーションによって、さらなる自立の意欲を喚起する支援の方向性を確認した。

〈事例2〉 〈事例3〉

事例2, 3は共に一人暮らしの軽度の認知症の利用者がヘルパー支援によって日常生活を継続できていたが、転倒等によってADLの低下があり、ベッド上の生活となった。最初の関わりは、軽度の認知症を呈しておられるときの記憶障害や見当識障害などの認知症状によって日常生活に支障があったり、ヘルパーとのコミュニケーションも十分ではなかった。その後の日常生活の支援を通じてヘルパーとの信頼関係が築かれ、その後のADL低下による重度化にも対応できた。

まとめ：軽度の認知症を有する一人暮らしの方が地域で住み続けるためには、家族のみならず、近所の人たちをはじめとする地域社会や、ヘルパーやデイサービスなどの社会資源の利用を組み合わせることで可能になる。認知症状の進行により限界が近づいてくるものの、症状からくる様々な不安を抱える利用者が、安心できる状況を周りが整えることで安心・信頼の関係ができ、その後の重度化に対応できる。今回の2例は何とかその方向性で支援できた事例であった。

〈事例4〉

自立支援法の制度では、介護保険のケアマネジャーにあたるケースコントロールの役割を担う人は、本人や家族になる。本人の気持ちを理解する点は家族は有利であるが、第三

者的、客観的にケースを見るのは他人がやりやすいかもしれない。事業所から見ると、多職種間の調整は専門家が有利と思われる。本事例では、関わる事業者が増えて、いかに調整機能を確保するかを検討した。

まとめ : 自立支援法ではサービス担当者会議の開催が義務づけられていないため、関わりの深い事業所が中心となってサービス担当者会議を開催して、本人・家族と事業所間の調整に努めるべきとの結論になった。特に医療情報の入手は家族ないしは、手慣れている事業所の関わりが重要になる。

〈事例5〉

ターミナルの利用者への予告告知が十分になされず、また、チームケアとしての連携も十分といえず、ヘルパーが利用者の思いを確認できないままに推移した事例である。病状の進行などによって状況が大きく変化する事態に上手く対応できていなかったのではとの思いから事例検討した。

まとめ : ターミナルの利用者を自宅でケアするに当たっては、本来はチームケアの観点から、家族・医療者・介護サービス担当者間の観察、報告、診断・評価が一体的に行われ、利用者本人に対するケアのみならず、同時に、いずれ遺族となる介護する家族の予期悲嘆へのケア（例えばグリーフケア）が重要になってくる。本事例では不十分な点を通院介助などを通じて本人、医療者と情報を共有したが、予後が未告知であり死に行く利用者の心に十分に寄り添えなかった思いがある。

- * 紙面の都合で内容を概要として示しました。
- * 事例発表・ディスカッションは利用者の方が特定されないよう匿名・匿住所で行い、発表資料も事後に回収し処分しています。

個々のサービス提供責任者やヘルパーの経験を他のスタッフと共有し、業務の遂行が経験頼るだけでなく、根拠に基づくためには、このような事例発表は有効な手段の一つと考えています。また、単に経験の共有にとどまらず現場でサービスを提供するヘルパーにとって、自分の仕事の位置づけや意味合いを知ることが出来ます。利用者や家族が抱える状況の共有、ケアマネジャーが作成するケアプランの示す目標・方向性の確認、それらをふまえた訪問介護の居宅サービス計画（個別援助計画）、またそれらに従ったヘルパーの業務内容、サービス提供方法なども確認され共有されます。

さらにはサービス担当者会議や事業所内で行われる、ケース毎の検討会の質の向上にも役立つものと思われます。ご利用者・ご家族あるいは主治医の先生、ケアマネジャーや他のサービス事業所の方々と、ヘルパーやサービス提供責任者とのディスカッションが深まることを期待しております。ご協力の程よろしくお願いいたします。